

病院トップの
Cool Head, but Warm Heart
経営者魂 Vol. 26

山口浩司

医療法人相生会
にしくまもと病院 病院長

医療法人相生会にしくまもと病院は、1993年より「くまもとホスピタウン構想」を掲げ、リハビリ機能を強化し、生活に寄り添う医療とケアに従事してきた。今年就任した山口浩司病院長は、「2025年に向けた組織体制の再構築と後継者の育成」をテーマに掲げ、さらに地域に根差した病院をめざす。



Koji Yamaguchi

優しく寄り添う心で
質の高い医療を提供し
地域に頼られる優れた病院に

撮影＝緒方 司

成長を追求する職員を 惜しみなく後押ししたい

“

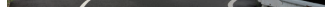


PROFILE

やまぐち・こうじ●1992年、宮崎医科大学医学部卒業。熊本県内の病院で整形外科医として経験を積み2009年、にしくまもと病院に整形外科部長として勤務。15年、同院副院長就任。18年、院長代行に就任、19年より現職。

●医療法人相生会 にしくまもと病院 急性期と在宅のハブ機能を強化

1988年、西熊本病院(87床)開院。91年11月にリハビリテーション室と病室等を増築し、92年4月、病院名を「にしくまもと病院」に改名。「都市近郊田園型のリハビリテーション病院」をコンセプトに、整形外科の関節鏡視下手術とリハビリテーションに注力してきた。93年に「熊本ホスピタウン構想」を策定し、社会福祉法人福寿会を設立。2013年、医療法人相生会(福岡市)と正式に合併。14年1月に介護療養病棟(60床)を特定施設・サ高住ホスピタウンハウス(33室)に改築し、現在は病床数146床。同構想のもと、地域の現状を把握し地域包括ケアシステムの構築を進めるため、18年6月に「地域総合サポートセンター」を開設。



——「熊本ホスピタウン構想」を唱えられていた、前・林茂病院長に代わり、2019年度から病院長に就任されました。数年前から病院機能評価の受審や新しい理念の策定などに取り組まれています。が、どのようなビジョンで準備を進められましたか。

山口 当院は熊本市の南部にあるケアミックス病院です。市内の中心には高度急性期病院が林立しておりませんが、そこから少し南に離れた場所でリハビリテーションに注力し、患者さんを在宅に戻して

いくというハブの役割を担っています。

私は、前病院長の林先生と同じ整形の関節外科を専門としているため、林先生のもとで仕事をするうちに経営にもかかわるようになり、理念を共有していきました。当院は中小病院ですが、同族経営はせず、やりたい医療や信念を持つ人が集まって地域の需要に応えていくというスタンスです。

病院長に就任するにあたって、基本的には、林先生が取り組まれてきた「質の高い医療の提供」と、

と考えます。

——今後の貴院の展望をどのようにお考えですか。

山口 これまで当院では、急性期病院と在宅とをつなぐハブ機能を果たすよう努めてきました。特に注力してきたのは、リハビリテーションと関節外科です。

前病院長がこの地域でいち早く関節鏡視下手術を取り入れ、膝関節を中心に症例を増やしてまいりました。14年には関節外科センターを立ち上げ、スポーツ外傷や人工関節などさまざまな疾患に対応できるように発展しております。関節外科センターは一人ひとりの患者さんに多職種で介入し、在宅生活に戻していく仕組みのことを指

します。現在関節外科の手術数は県内でもトップクラスのシェアを誇り、当院の大きな柱となっています。また、どの疾患においてもリハビリテーションでは「患者さんが望む生活を支援する」を目的として、多職種のチームで支えています。

この他にも当院には、在宅部門(ハブセンター)や予防(健診センター)、臨床薬理センターなど、さまざまな機能があります。これらの一つひとつを強化して太い柱にすることで、基盤を強化し安定させることに取り組んでいます。

予防分野では、18年6月に「地域総合サポートセンター」を開設しました。看護師2人、そのうち1人は元看護師長を専任で配置。

医療・介護の専門知識を活かし、地域のサロンや多職種連携会議に参加し、地域が多職種との情報共有を図っています。これは熊本ホスピタウン構想実現をめざすための試みでもあります。

また、19年6月には「在宅医療支援準備室」を設置。管理栄養士やセラピストが常駐し、訪問診療に加えて、栄養指導やリハビリを行うなど、在宅生活の充実に向けて取り組んでいます。

今後の人口減少社会のなかで求められる病院は、院内にとどまらず、患者さんの生活に寄り添うこと。在宅支援において、確かな技量のある病院だと考えます。今後と同構想のもと、地域に寄り添った病院であり続けます。

病院トップの Cool Head, but Warm Heart 経営者魂

私は毎朝入院患者さんを回診しているのですが、良い評判は患者さんやご家族からも届いてきます。職員が医療人としてスキルを上げることができる追求し、その努力を継続できる職員が育つ職場でありたい

Q&A 10問10答

Q1 自分の性格をひとりで言い表すと？

こたわる。一心一途。

Q2 弱点を1つ教えてください。

人見知り。恥ずかしがり。

Q3 最近うれしかったことは？

夏に子どもたちと天草に魚釣りに行ったこと

Q4 今はまっているものがありますか？

人工関節手術の3Dテンプレートでシミュレーションをすること。

Q5 タイムマシンがあったら行きたいのは過去？ 未来？

だいぶ先の未来。人類が住んでいるのが地球なのか、どこなのか、など興味があります。

Q6 人生で最も影響を受けた人は？

大学時代の医学部ラグビー部の友人や先輩、先生。人格形成に影響を受けたと、今になって思います。

Q7 日課はありますか？

毎朝7時前から、病棟の患者さんを回診すること。

Q8 人生最後に食べたいものは？

たまご焼き。毎日妻が作る弁当に入っています。

Q9 今一番会いたい人は誰ですか？

大学時代の友人

Q10 病院トップとしてふさわしい素養は？

強く優しいこと